



完全予約制“いちご屋くろべえ”を運営

## 経営概要

- ◆代表者、所在地  
代表取締役 谷川雅之、三重県松阪市
- ◆設立年  
令和4年10月
- ◆経営規模  
施設イチゴ 55a (うち観光イチゴ園40a)
- ◆従業員数  
役員 2名、パート・アルバイト 6名
- ◆事業内容  
地域最大級の規模で施設イチゴ栽培を行い、観光イチゴ園にも取り組む。

## 1 現状及び相談内容

平成22年に父親からの経営継承を契機に新たにイチゴの経営を開始した。約20年先の自身の経営継承を見越して、法人化の必要性を感じていた。

また、現状の観光イチゴ園の周囲には土地がなく、規模拡大を図りにくいなど、将来の経営展開について迷いながらも決断すべき事が多く、平成31年1月に相談を行った。

## 2 支援内容

中小企業診断士による経営診断を受けたのち、三重県農林水産支援センターの専属スタッフや普及指導員が、栽培技術の支援も含めて経営改善や経営計画の検討についてサポートを行った。法人化にあたっては、就業規則の策定や労務環境の改善などに関する助言等の支援を行った。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★就業規則を整備したこと、従業員だけでなく取引先を交えた業務改善を通じて従業員のやる気を引き出すことで、従業員が定着しやすい環境を実現

### ■生産性の向上と労務環境の改善

観光農園で完全予約制の導入や通販、手書きメッセージを添える商品の魅力を向上する取組を行い、生産性の向上や利益の確保、労務規則の締結等を行って雇用者の労働へのモチベーションを高めている。

### ■「楽しい」と思える働く場づくり

新しいことへの取組を進め、イチゴの生産過程や販売過程において、改善箇所の収集を常に心がけている。

スタッフ、関係業者も交えて改善に取り組んだ結果、スタッフのモチベーションの向上につながり、在職期間の延長につながった。

### ■産地の将来を見据えた研修生の受け入れ

安定した売上が確保できるよう、常に生産方法や、販売方法の改善を行っている。

就農人口が少ない中、イチゴでの新規就農を目指す研修生を積極的に受け入れ、農業に対する心構えや栽培技術を誠実に伝えている。



園主が顧客の大切な気持ちを書いたため販売

### 今後の意気込み

自分も雇用者もいちごにかかわる方々も、みんなが刺激あい、新しい感覚で農業にかかわり、販売することを目指している。この場を商品の新たな価値創造につながるプラットフォームにしていきたい。

### 専属スタッフ所感

経営に関わる従業員や消費者の皆さんが楽しくなる関係づくりや将来の担い手育成の取組が、より広域に波及することを期待します。